2011
Vol 10

JAPANESE RED CROSS SOCIETY FUKUOKA PREFECTURAL CHAPTER THE SPECIAL NURSING HOME HOUJUEN

豊かな樹・豊寿園

日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

新年明けまして おめでとうございます

昨年度は色々な課題を抱えながらも無事新年を迎えることができました。皆様のご支援ご協力まことにありがとうございました。

今年度はさらなる介護の質の向上を図り、赤十字施設としての役割を果たすべく、地域との幅広い交流をとおして益々皆様に愛される施設となるよう職員一同取り組んでまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

年始にあたり、各職員が新年の抱負を漢字一文字にしたためました。職員の意気込みをご覧下さい。

日赤豊寿園　職員一同

特集シリーズ　あなたと向き合った日々

ご家族様の介護体験を教えていただくため、今回は奥水介護係長が直接インタビューを行いました。
今回、インタビューに応じていただいたのは豊寿園家族会副会長の宮下正典さんです。

奥水介護係長（以下　奥水）：いつも、園の運営にご協力いただきありがとうございます。本日は、在宅介護の頃の様子をお話しいただければばと思います。よろしくお願いします。

宮下さん（以下　FA）：自宅で母は2階に住んでいました。毎朝、2階に上がり、母の姿をみて、声を聞いて母の笑顔に元気をもらっていました。

奥水：お母様の笑顔には、私たちも癒されています。

FA：次男がなくなった頃から様子がおかしくなりましたね。火を出したり・・僕も火傷をしたことがありました。冷凍していたパンを並べていたり、ご飯を池の鯉に全部食べさせたり（^ ^）色々してくれました。

FA：長生きすることは死に近づくことでもあるのですが、僕は5人兄弟の3番目で母と暮らせるのは縁があるのだと思いました。開き直って介護をしていました。夜になると“マーちゃん、あそんでおいで”って母が布団の中から言うんです。帰ってみると、布団から廊下からトイレまでしっかりビショビショで、1時間ばかし格闘したりしました。

でも大声をあげたりはしなかったですね。母と暮らせたことは幸せでした。

奥水：施設に入所する時はどうでしたか？

FA：しばらくは、寂しかったですし、苦しかったですね。罪悪感を感じていたんだと思います。今は、母が笑顔で生活しているので安心しています。面会に来て棟内を2周程車椅子で散歩するんです。その時僕が歌を歌うのですが、母も覚えてくれて口ずさんでくれます。うれしいですね。

奥水：歌は好きですよね。今でも童謡等は、しっかり覚えられていますね。

FA：本当に感謝しています。

奥水：これからもよろしくお願いいたします。今日は、ありがとうございました。

—　今回インタビューに応じていただいた宮下様は、いつも面会に来られてはしばらくお母様と楽しそうに談笑されてからお帰りになります。また、私達職員のことにも非常にお気遣いをいただいています。その背景にはやはりご自宅でとてもご苦労された経験があることを今回のインタビューで知ることができました　—

貴方の介護体験を教えていただけませんか？
インタビューを受けても良いという方がいらっしゃいましたら豊寿園生活相談係までご連絡ください。

新たに豊寿園の嘱託医を務めていただきます!!

豊寿園の嘱託医を長年に渡り努められました“くらもと内科医院”院長　木村洋一先生が退職された後を継ぎ、12月より、私、上曽根病院内科部長の武原英樹が嘱託医を務めさせていただきます。

今後も、各医療機関との密接な連携を図りつつ、ご利用者様の健康管理に努めてまいりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

～プロフィール～
①氏名　　武原　英樹
②所属　　上曽根病院　内科部長
③経歴　　・医学博士・日本内科学会認定医
　　　　　・日本産業衛生学会産業医学専門医・指導医
　　　　　・日本医師会認定医労働衛生コンサルタント

豊寿園トピックス

福祉事業から地域社会の連携へ
ー日赤が新たな福祉施設を開設します！ー

日本赤十字社では東京都渋谷区広尾に新たな福祉施設”日本赤十字社総合福祉センター(仮)”の開設を予定しています。既設の日本赤十字社医療センター、日本赤十字社看護大学に隣接した地に地上8階、地下1階建ての特別養護老人ホーム･老人保健施設･グループホーム･障害者支援施設･居宅介護支援事業所が一体となった、複合施設です。

以下、日本赤十字社　近衛忠煇社長の言葉です。

ー「目の前に困っている人がいるのにそれを傍観することは許されない。『人道』を掲げている赤十字が福祉事業に取り組むのは必然だと考えています。」ー

ー「既に広尾にある医療センターや看護大学、乳児院と、この総合福祉センターとが連携し相乗効果が発揮できれば他に無い特色を打ち出せ、地域に大きな貢献ができるはずです。こうした取り組みを成功させるためには施設というハード面だけでは不十分だと思います。日赤が運営する全国28箇所の社会福祉施設はたくさんのボランティアの協力で成り立っています。この総合福祉センターでもこうした地域との協働を実現したい。それを通じて地域との連携を育むお手伝いをしていきたいと考えています。」ー

＊「赤十字新聞　Vol846　より一部抜粋」

豊寿園では秋山介護長がこの総合福祉センターの設備･備品等検討会委員として開設に向け携わっています。

また、既存施設としてこれまで培ってきたノウハウをセンター開設に向け還元し、地域との協働を率先して取り組んでいきたいと考えています。

センターの開設予定は平成24年4月です。詳細についてはホームページをご覧下さい。http://hiroo.jrc.or.jp

平成22年度第二期の入所検討会議を行いました

平成22年12月1日～平成23年5月31日までの北九州市内特別養護老人ホーム利用申込者の待機順位を決定するため11月24日に園内にて外部委員を交えた検討会議を行いました。今回の待機者総数は124名でした。定員に空きが出次第順次入所をご案内していきます。待機者の入所進捗については豊寿園のホームページでもご確認いただけます。http://nissekihoujuen.jp

ご利用者様の健康管理のために（お願い）

感染症の流行が懸念される時期です。ご来園の際にはご面会の前に必ず手洗い･うがいを行い、マスクの着用をお願いいたします。また、ご自身や周辺の方が体調不良の際のご面会はお断りいたします。

皆様のご協力よろしくお願いいたします。

職員研修を行いました

12月2日豊寿園研修会議室にて、翼･篠木法律事務所の代表弁護士である篠木潔先生をお招きして職員研修会を行ないました。

篠木先生は福祉分野に対し大変造詣が深く、研修会では実際の介護現場で起きうる事例や対応方法を興味深く聞くことができました。

今後も研修会を重ね、ご利用者様に満足していただける施設であるように職員一丸となって取り組みたいと思います。

実習生の受け入れを行います

【赤十字九州国際看護大学】　1/24～1/26、2/13～2/15

どっとクロス!計画

豊寿園の地域の方々との交流の模様について
ご紹介します。

～ 認知症サポーター養成講座 ～

9月27日大里東市民センターにて「認知症サポーター養成講座」が開催され、秋山介護長が講師として参加しました。

講座には大里東まちづくり協議会の方が参加をされ、認知症に対する知識や予防法、認知症の方への対応方法についてもロールプレイを行い理解を深めていただきました。

講座終了後には市社会福祉協議会の方より終了証とオレンジリングが配布されました。

～ 松ヶ江中学校福祉体験教室 ～

10月20日に市立松ヶ江中学校にて門司区ボランティア・市民活動センターが行う福祉体験講座に当園職員も講師として参加させていただきました。

私達が担当した車椅子操作のコーナーは体育館の中と外とで、基本的な操作手順や段差の昇降、坂道の上り下りを体験してもらいました。

車椅子に触るのが初めてという生徒さんも多く、最初は上手くいきませんでしたが、何度もチャレンジするうちに車椅子を上手く上げることができ喜ぶ姿が見られました。

当日体験をされた生徒さん達から一人でも多く、介護に興味を持つ人が出てきて欲しいと感じた一日でした。

～ 福岡赤十字病院奉仕団視察研修 ～

10月28日に福岡赤十字病院で日頃診療科への案内などのボランティア活動をしていただいている奉仕団の方々が視察研修に来園されました。短い時間の中でしたが、豊寿園の概要や施設内の見学をしていただきました。

参加された方の中には豊寿園の開設時にも来園された方もおり、感慨深い一日でした。

～ イキイキ健康講座 ～

11月18日松ヶ江北市民センターで第3回目の健康講座が行われました。今回は主に認知症の予防について荒木介護長が講義をさせていただきました。松ヶ江地区の皆様とは以前から赤十字救急法など様々な豊寿園の専門職による講義に参加していただいています。

特に、認知症とその他の症状が判別しにくいという、するどい質問に荒木介護長もたじたじの講座ではありましたが、今後の地域福祉活動に役立てていただければ幸いです。

～ 丸山校区視察研修 ～

11月4日に丸山校区社会福祉協議会の方々が視察研修に来園されました。棟内の見学の後には上記と同様に荒木介護長から認知症についての講義を行いました。

参加された皆さんは、日頃お一人暮らしの自宅を訪問されており、その際に役立つ認知症に関する知識についての詳しく説明を行いました。

参加された方々からは、「できれば老人ホームには入りたくないと思うが、必要によってはこういった介護サービスを利用したいと思う。また、このことを校区にも伝えたい」との感想が聞かれました。

豊寿園アルバム

園内行事等の模様をお伝えしていくコーナーです。
今回は10月から12月までの園内行事です。

～ バスハイク ～

10月7日に門司レトロへバスハイクに行きました。
現地では飲物やデザートなどを購入して、それとあわせて門司港レトロの景観を楽しみました。
職員もご利用者様と一緒にうきうき気分で楽しい時間を過ごせました。

～ 楽しい運動会 ～

10月7日に運動会が行われました。新門司保育園の園児達によるお遊戯から始まり、玉入れ、パン食い競争、職員によるラムネの一気飲みが行われました。
ご利用者様達に笑顔があふれ、大変にぎやかな運動会となりました。

～ 収穫の秋　芋ほり ～

10月22日に前家族会役員さんのご好意で豊寿園裏の畑にて、芋ほりを行いました。
おかげさまでおいしそうなサツマイモが沢山収穫できました。収穫されている表情も誇らしげで存分に秋を感じられたのではないかと思います。

～ 可愛い犬とのふれあい ～

11月6日にボランティアの東山さんと愛犬のラブちゃんによるドッグセラピーの受入を行いました。1階ホールにて東山さんの号令でラブちゃんに様々な芸を披露していただいた後、お一人ずつラブちゃんを抱かせてもらいました。
以前にはご自宅で犬を飼ってらっしゃったというご利用者様も多く、心温まる時間を過ごしました。

～ お茶で一息　喫茶 ～

11月17日、24日に各階にて喫茶を行いました。
今回は和のテイストで飾りつけを行い、皆様にいつものおやつの時間にゆっくりと過ごしていただきました。
和の雰囲気といつもよりちょっと贅沢なお菓子で皆様より素敵な笑顔をいただきました。

～ 賑やかな忘年会 ～

12月8日に忘年会を行いました。今年はボランティアさんによる社交ダンスやマジックの披露を観賞し、その後は昨年度好評だった餅つきを行いました。「よいしょっ!」という威勢の良い掛け声に併せて職員、ご利用者様とでついて周り、その餅は新年の鏡餅としてエントランスホールに飾りました。当日ご協力いただきました白川様、柳井様ご協力ありがとうございました。

～ デイサービス運動会 ～

11月17日にデイサービス運動会を行いました。
最初に代表のご利用者から「全力で頑張ります」と元気な挨拶で始まり、いつもと違ってラジオ体操にも気合がみなぎっており、楽しみにしていたのが伝わってきました。
赤白に分かれて、今年は毎年恒例のパン食い競争、玉入れの他に、ピンポン玉リレーや大玉おくり、つなひきの競技を行い、ピンポン玉リレーでは、玉を落とさないようにバランスを上手くとりながら、皆さん集中して参加されていました。
「日頃こんなに動かないからいい運動になった」などと話される方もおり、良い気分転換となったのではないでしょうか。
また、当日ご協力いただきましたじゅんの会の皆さんありがとうございました。

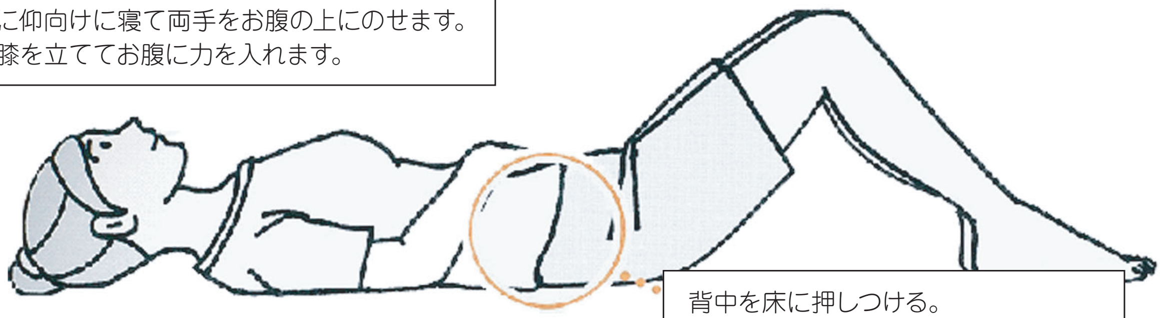
特集シリーズ　介護一口メモ

やってみましょう！「腰痛体操」

介護には中腰や無理な姿勢で行うことが多く肩や腰などに負担をかけることが多いと思います。そこで今回は誰でも簡単にできる「腰痛体操」をご紹介します。

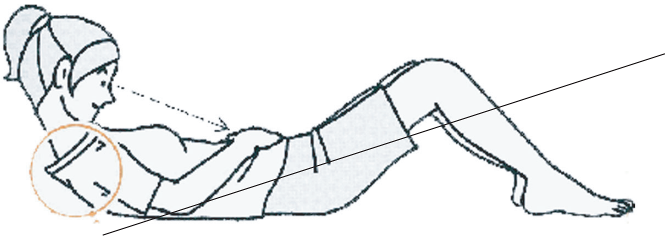
疲れた時でも、簡単にできます。また、高齢者でも比較的楽にできます。一度お試し下さい。

①お腹に力を入れる。
床に仰向けに寝て両手をお腹の上にのせます。
両膝を立ててお腹に力を入れます。



背中を床に押しつける。
肩からお尻にかけて背中全体をしっかりと床につけておきます。隙間があると腰に余分な負担がかかるので注意しましょう。

②おへそをのぞきこむ。
お腹に力を入れ肛門をしめるようにお尻にも力を入れます。
おへそをのぞき込むように頭を上げ、お尻も少し浮かせます。



上体は起こさない。
頭を上げる時、肩から腰までの上体は床につけたままにしておく事がポイントです。

華麗なる川柳への道

読者であるご家族さまから川柳を投稿いただくこのコーナー、今回のお題は「年金」です。
今回もたくさんの力作が寄せられました。見事大賞に輝いた方には豊寿園から記念品を贈呈いたします。

大賞
年金日 いただくお金 妻仕分け
利用者ご家族様

長生きや 年金暮らし 板につき
P.Nのんちゃん

景気よく 年金使う お年寄り
P.Nキータン

特別便 運ぶは机上の ことばかり
匿名希望

気がつけば もらう年金 何使う
利用者ご家族様

年金日 絶えない笑みで 手に荷物
匿名希望

今回も様々な話題や風刺を交え、面白おかしく表現していただきました。たくさんの投稿ありがとうございました。
次回のお題は「花見」です。皆さんの力作をお待ちしております。投稿用紙は園内に設置しております。

特集 シリーズ 豊寿園ブログ村

豊寿園に勤務する職員が私生活で感じたことなどを徒然に書き込む豊寿園ブログ村。
第３回は看護師として勤務する安河内佳奈美さんです。

豊寿園に入社して1年5カ月が経ちました。我が家には15歳、7歳、5歳の子供3人がおり、仕事と育児に追われる日々を過ごしています。一番下の子もようやく自分の事が少しずつできるようになり「これから自分の時間も少しずつできるのでは・・・」と期待していた矢先、

妊娠が発覚してしまいました！

3人の子供たちは大家族への憧れがあり大喜び（*^_^*）また育児がゼロから始まることに少し不安を感じましたが、5カ月に入り胎動がわかるようになり母親にだけしか味わう事のできない喜びに毎日浸っています。

７か月に入り、健診も２週間毎になりました。エコー写真で顔を写してもらいました。見えますか？⇒

金銭的な問題だけでなく働きながらでも子供を育てていけるように、もっともっと子育てしやすい社会になればと願っています。出産予定は３月です。無事に出産し、また皆様にお知らせできることを楽しみにしています。

次号の担当は　居宅事業所の坂根琢也さんです。

また、他の職員のブログは豊寿園のホームページ上でも公開していますのでそちらもお楽しみに！！

豊寿園ホームページアドレス
http://nissekihoujuen.jp

お手軽クッキング

☆金太郎巻き

どこを切っても同じ形になり彩りもキレイなメニューです。焼かずに仕上げる為やわらかくどなたにでも食べやすいですよ。

管理栄養士　長崎　真紀子

【材料４人分】

鶏ミンチ	200ｇ	料理酒	６ｇ (A)
絞り豆腐	60ｇ	生姜	６ｇ (A)
山芋	30ｇ	砂糖	６ｇ (A)
片栗粉	６ｇ (A)	卵	30ｇ (A)
塩	１．８ｇ (A)	グリーンアスパラ	60ｇ
薄口醤油	12ｇ (A)	人参	60ｇ

【作り方】
①グリーンアスパラは硬く茹でておく。
②人参も1㎝角の棒状に切って硬く茹でておく。
③鶏ミンチ、絞り豆腐、すり下ろしの山芋をボールに入れてAの調味料を入れてよくこねる。
④ラップに③のタネを広げて真ん中にアスパラと人参を置き巻き寿司の要領で巻く。
⑤ラップごと蒸し器に入れて25分から30分蒸す。
⑥出来上がり！！ソースはお好みでオーロラソースやケチャップなどでどうぞ～中心に入れる食材をうずら卵やインゲンなどでもいいですよ。

次号予告

次号は4月発行予定です。
○特集
「あなたと向き合った日々」
「豊寿園ブログ村」
○豊寿園アルバム
「1月年賀式（1/4実施予定）」
「1月獅子舞鑑賞会（1/18実施予定）」
「1月喫茶（実施日未定）」
「2月節分（2/3実施予定）」
「2月買い物（実施日未定）」
「3月ひな祭り（3/3実施予定）」
「3月花見（実施日未定）」などの様子をお伝えします。
○もっとクロス
「第4回いきいき健康講座（1/13実施予定）」
「第4回松ヶ江北小学校交流会（1/19実施予定）」
などの様子をお伝えします。
○華麗なる川柳への道
お題「花見」です。皆さんの力作をお待ちしております。
○お手軽クッキング
春の旬食材をつかった簡単レシピを紹介します。

編集後記

毎年、財団法人日本漢字能力検定協会が発表している“今年の漢字”ですが、昨年は猛暑やチリの落盤事故にかけて、「暑」が選ばれました。

新年号である今号では、豊寿園職員も今年の抱負を漢字で表現しています。

開園14年目を迎える今年はどういった一年になるか今から楽しみでもありますが、来年を迎えるときに「笑」「穏」「楽」などが選ばれる年となることを願わずにはいられません。

「豊かな樹」では、今年も昨年同様に豊寿園の様々な情報を発信していきますのでどうぞお楽しみに。

平成22年度広報委員
生活相談係 主任　森　英樹

発行：平成23年1月15日
日本赤十字社福岡県支部
特別養護老人ホーム豊寿園
広報委員会
〒800-0112
北九州市門司区大字畑1808-5
TEL（093）481-1121
FAX（093）481-5678